



murakushi

# 広報

平成22年度 第3号

(通巻第112号)

平成23年3月20日

村櫛町自治会

平成22年4月1日現在 人口 3,146人 男1,534人 女1,612人 世帯数1,049戸



11月21日(日)第13回会館まつりが秋晴れのもと行われました。ホール内の芸能発表や焼きそば、フランクフルトのテント販売、無料の甘酒・綿菓子、ゲームコーナーなど大変好評でした。



とよさか  
「豊栄の舞」を初披露する松田唯さんと  
浦安会メンバーの皆さん



幼稚園児の初参加にホール  
は立ち見が出るほどいっぱい  
になりました。

# 会務報告

11月	20日	広報ムラクシ発行
	21日	第13回会館まつり
	28日	第4回組長会
12月	5日	地域防災訓練
	12日	墓地清掃
	17日	第10回定例評議員会
1月	9日	庄内地区成人式
	15日	秋葉神社参拝と秋葉灯籠清掃
	21日	第11回定例評議員会
2月	12日	むらくし展
	13日	むらくし展
	〃日	自主防災隊説明会
	18日	第12回定例評議員会
	〃日	第2回会館運営委員会
	27日	新評議員候補者研修会
3月	5日	第5回組長会
	6日	墓地清掃
	〃日	新旧評議員事務引継ぎ
	18日	第13回定例評議員会
	20日	自主防災隊入退隊式
	23日	広報むらくし発行

## 一年を振り返って

自治会長 松下政弘

今年度を省みる時、小中一貫教育校問題を抜いては考えられないでしょう。

さかのぼること九年前、浜松市教育委員会から「学校規模適正化案」が提示され、この事により村櫛小学校と南庄内小学校がこの対象校になりました。十九年度には「庄内地区の教育を考える会」によるアンケート調査が実施され、結果「庄内地区小中一貫教育校設立について」の要望書が提出されました。

二十年度には「庄内地区小中一貫教育校検討委員会」による調査研修がなされるなか、村櫛地区では学校を失うことへの疑念と将来の村櫛を不安視する声が高くなってきていました。二十一年度に入り広く町民の意見を聞く場として、意見交換会やアンケート調査を実施。一方庄内地区自治会連合会では提案書提出に向けて検討、二十二年二月に提出をしました。しかしながら村櫛町自治会では意見交換会・アンケート調査の結果を踏まえ提案書には押印をしませんでした。

今年度に入り、小学校以下の保護者対象判断会を経て八月には臨時総会を開催。その結果、現時点では村櫛校区は参画しないことを決議、庄内地区自治会連合会へこのことを報告、自治連からは難色を示されながらも受理してもらい一つの区切りをつけることが出来ました。なお、今後この問題については多くの課題が残っていることも事実です。

これらを通じて思う事は、町民の皆さんの村櫛に対する熱い思いを感じる中で、自治会の在り方についてです。自治とは「自分や自分たちに関する事を自らの責任において処理する事」と辞書にあるように町民の皆さんが考え、また、それを推し進めていく、その代弁者であり推進役が自治会の大きな役割ではないかと考えます。

議論の中、「将来、歴史という法廷に立つ覚悟が出来る

ているのか」というノーベル賞受賞者野依教授の言葉の引用がありました。自らをこの言葉に照らし合わせた時、将来この事で断罪されるようなことがあるうとも法廷に立つ覚悟は常にもって行動してきたつもりです。

目を転じ、村櫛町の課題「まちづくり」について考える時、何事も一朝一夕に出来るものではないと痛感しています。しかしながらこの事を常に思い続ける事こそが物事を実現させる大きな原動力になると確信しています。今後も自治会活動には更なる思いを寄せていただき、住みよい地域づくりに協力賜りますようお願いいたします。

## 自治会活動を通して思うこと

女性部長

竹田宜永

何もわからないまま自治会女性部の仕事に携わって一年が過ぎようとしています。これまでなんとかやってこられたのも評議員を始め、女性部員、民生委員などの方々に支えていただいたおかげと心より感謝申し上げます。

女性部では、高齢化社会の中、町民の皆様が輪投げやペターボード等に親しみ、また介護者教室の楽しい講話に参加して、少しでも毎日を明るく元気のある生活ができるよう御支援していきたいと思えます。

先日、町民の方より「相続について」の話を聞きたいけど地元で機会をつくってもらえないかなあ」とこんな声を耳にしました。また、衣類リサイクルでエコ活動に参画するなど、今後もいろいろな活動に取り組んでいきたいと思えます。

今年度は、十一月に「第十三回会館まつり」を実施しました。今回は、幼稚園児の初めての参加もあり、盛況に開催することができました。また、大勢の町民の笑顔を見ることができ嬉しくなりました。有り難うございました。これからも、町民の皆様が住みやすい町づくりのために、女性部の活動をより充実していきたいと考えますので御支援と御協力を御願いたします。

# ガーデンパークの元旦マラソン

毎年村櫛小学校で開催していた体育振興会主催元旦マラソン。今年は、ガーデンパークが1月1日限定開園すること、むらちゃネットのイベントにあわせ、ガーデンパーク内を走るコースで実施しました。

例年より子どもの参加が少し減ったようですが、それでも多くの親子連れの参加がみられ、浜辺の観察園の海岸から見る初日は、今までと一味違う新鮮さを感じました。

園内の周遊コースをそれぞれのペースでゴールのイベント広場まで駆け抜けると、そこには、むらちゃネットの皆さんが用意してくれた甘酒や、つきたてのお餅が出迎えてくれました。



"2011年"元旦 初日の出にバンザイ



元気にスタートする参加者の皆さん



園内を軽快に走る親子連れ



息の合った餅つきを見せるむらちゃネットのメンバー

## 地域防災訓練

### 「防災意識を高めましょう！」

12月5日「地域防災の日」にあわせ、東海地震を想定した防災訓練が小中高生や町民の皆さん参加のもと村櫛ふれあい広場で実施されました。

例年の訓練想定に加え今年は、機材設備充実の一環としてチェンソーを購入、その披露を兼ねての木材カット実演や災害時要援護者台帳の作成や安否確認訓練も加え、少しでも実践に役立つ訓練をと進めてきましたが、一番大事なことは町民の皆さんが「自らの命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」このことを意識して訓練に参加していただく、また、生活していただく事こそが防災の原点であると思います。



参加者全員によるバケツリレー



自主防災隊放水訓練



チェンソーでの丸太切り実演



# アンテナ

町の声 あんなこと こんなこと



## 秋葉山本宮秋葉神社 参拝

1月15日(土)雪の舞い散る中、毎年恒例の秋葉神社を参拝しました。長く続く参道の階段もうっすら雪化粧でした。秋葉神社(天竜区春野町)は、赤石山脈の南側に位置する標高866mの秋葉山の山頂付近にあります。火防開運の神様である秋葉神社に町民の安全と火災消除等をお願いしました。



秋葉神社 上社山門

## 秋葉灯籠は、「火の用心」のシンボルです!

火の始末は大丈夫ですか? 秋葉灯籠は北明、仲町、西明の3箇所にあります。この秋葉灯籠は、明治18年に起きた大火(民家57戸、143棟を焼き尽くす)の戒めを教訓に防火思想の啓蒙のシンボルとして残していきたい。



西明 秋葉灯籠と内部

## 「ようこそ花と緑の溢れる町 村櫛へ」

ご覧になりましたか? 村櫛の北の玄関口に位置するかなやま花壇の看板が新しくなりました。これからも村櫛を訪れる皆さんをこの看板と四季折々の花がお迎えしてくれるでしょう。



## 「村櫛會館」の看板が建ちました

村櫛會館が建てられてから17年になりますが、村櫛會館の看板が無かったのです。町民には町内の一施設として浸透していたのでしょう。

ところが、町外からご来訪する方々は村櫛會館の所在地がわからないので大変困っていたようです。そこで、自治会では昨年12月に看板を設置しました。



## 編集委員

古橋 道司 杉田 甚一 大谷 徳一 石塚 由幸  
熊谷 益美 小松 美保 徳田八重子